

## JAXA 大気球 2基目の放球実験

宇宙からの  
電子など観測

【大樹】独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は27日、大樹航空宇宙実験場で大気球の放球実験を行った。今年度第2次実験の2基目。宇宙から飛来する高エネルギー電子・陽電子を観測し、宇宙空間の正体不明な暗黒物質の謎に迫る。



実験グループは早稲田大やJAXAなどで構成。観測機器は、国際宇宙ステーション搭載を目的としたCALETの気球搭載型小型モデル「bCALET-2」を使用した。これまで、三陸大気球観測所(岩手県大船渡市)などで、観測機器を改良しながら各種データを集めてきた。今回は高度約34千付近で2時間程度の観測を目指している。この日は午前6時21分、最大膨張時で体積10万立方分、直径63・4cmの気球に観測機器をつり下げて放球した。

(佐藤圭史)